

チャンス・チャレンジ・チェンジ

秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

みどり学園

夏休みボランティア養成講座



1 講義&演習「子どもの困り感の理解と支援」(60分)

(1) ある高校生の投書 ～車椅子に乗ってみて知ったこと～

- ・車椅子に対する世間の配慮は昔に比べると随分優しくなったようだが、まだまだ改善の余地はあると感じた。(障害への理解が進んでいる)

(2) 障害のとらえ方

- ・活動に参加できないのは、子どもの障害や特性が原因で起こる。
- ・「～しかできない子ども」(否定的・マイナスイメージ)



- ・活動に参加できない原因を、子どもではなく周囲の環境に求めるようになった。
- ・「～があればできる子ども」(肯定的・プラスイメージ)

障害(特性)は決して自分と無縁ではなく、あなたの中にも存在する!

(3) 障害のある人を取り巻く「4つのバリア」

- ①物理的バリア：段差や急な坂、狭い道路など高齢者や障害者の生活を邪魔するもの
- ②制度的バリア：障害を理由に資格や免許の取得、就職など社会参加の制限を受ける
- ③文化的バリア：目や耳が不自由な人が文化や情報に触れるチャンスが限られてしまう
- ④心のバリア：心ない言葉、視線、無関心、差別的な意識など人々の心の中にあるもの

①～③は時間とお金をかけると取り除くことができるが、心のバリアを取り除くためには教育の力(人の力)が必要!

(4) 体験しよう

- ①言葉が伝わらないってどういうこと?(ジェスチャーで会話)
- ②どんなふうに見えるの?(細工したペットボトルで見る)
- ③どうしてうまくできないの?(利き手と反対の手で作業する)
- ④相手のことを好きになるコツ!(相手のいいところ探し)



(5) 宮澤章二さんの詩 ～「行為の意味」～

(こころ)はだれにも見えない けれど(こころづかい)は見えるのだ

それは 人に対する積極的な行為だから

胸の中の(思い)は見えない けれど(思いやり)はだれにも見える

それも人に対する積極的な行為なのだから

ちょっぴり勇気を出して、自分の思いを言葉や行動に表して心のバリアを取り除く。

この講座が皆さんを変えるきっかけにしてほしい。

2 車椅子体験コーナー (30分)



・この講座を受けた方は、本校の運動会や夏祭りなどの行事にボランティアとして活躍します。

・障害理解に関する「出前授業」を受け付けています。みどり学園へ連絡をください!